

原子力規制検査における課題への対応スケジュール

赤字：進捗情報

令和4年度

令和5・6年度

令和7年度以降

	令和4年度	令和5・6年度	令和7年度以降
横断領域に係る検査	<ul style="list-style-type: none"> NRCの状況をフォロー 	<ul style="list-style-type: none"> 柏崎刈羽追加検査の実績等から反映すべき点の抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 検査手法を検討
核燃料施設SDP	<ul style="list-style-type: none"> 使用施設SDPの検討・ガイド改正 今回、使用施設のSDP手法の案を提示 	<ul style="list-style-type: none"> 再処理施設等の他の核燃料施設等のSDP手法検討に着手 	
PRAモデルの改善・範囲拡大	<ul style="list-style-type: none"> 高浜1・2号機、美浜3号機のレベル1 PRAモデルの適切性確認 ATENAの問題意識を把握し、対応 <ul style="list-style-type: none"> -別途、面談を実施して問題意識を把握し、対応済 -日米間の機器故障率に関する際の要因に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> 柏崎刈羽7号機(レベル1)、大飯3・4号機、玄海3・4号機、高浜3・4号機、川内1・2号機(レベル1.5)等の適切性確認 適切性確認で事業者に指摘した事項の対応状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の研究開発状況を踏まえ、モデルの範囲拡大に対応
事業者の機微情報へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> 会合等で検査における機微情報等の取扱いについて事業者と議論し、手順の明確化を実施 JANSI及びWANOとの議論も継続し、JANSI情報の取扱いについて合意を目指す 12月にWANOと打合せを実施 		
設計管理及び火災防護の検査の改善	<ul style="list-style-type: none"> 事業者からDBDの状況についての説明を受ける 火災防護のNRCチーム検査に職員を派遣 11月末から12月にかけて、規制庁職員3名を米国NRCに派遣し、火災防護のチーム検査を視察 	<ul style="list-style-type: none"> 設計管理のNRCチーム検査に職員を派遣 派遣によって得られた調査結果をもとに改善を検討 	
リスク情報を踏まえた設工認	<ul style="list-style-type: none"> 事業者からの提案に応じて検討 		
使用前事業者検査の対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> 事業者から見直し検討の方向性の提示 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者からの具体的な提案を踏まえて、提案の妥当性等について議論 	

原子力規制検査における課題への対応スケジュール

赤字：進捗情報

令和4年度

令和5・6年度

令和7年度以降

	令和4年度	令和5・6年度	令和7年度以降
非該当使用者における放射線測定機器の校正	<ul style="list-style-type: none"> 非該当使用者の実態調査を踏まえ、ガイド改正 本年度の調査を全て完了し、放射線測定信頼性確保のあり方について、その運用方針とガイドへの反映を整理中 		
検査官交流	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から実施した検査官交流を継続 停止中プラント担当の検査官2名を稼働中プラントへ派遣する交流を実施 		
検査指摘事項集の整備	<ul style="list-style-type: none"> 検査指摘事項集の作成 指摘事項集はHPIに掲載済 軽微事例集の削除を行うガイド改正 国内事例に基づく軽微事例については今回のガイド改正案にて提示 		
核物質防護分野に関する検査官の力量向上	<ul style="list-style-type: none"> 原子力安全を担当している検査官に対して、核物質防護に関する研修を順次実施 		
立地地域自治体等とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 立地地域自治体や地域の実情に応じた説明を実施 原子力政策推進と受け取られないことがないように留意しつつ、引き続きコミュニケーションを実施 		
総合的な評定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 現地検査官等との議論を試行 今年度、指摘事項が多く出ている実用炉に関して、規制庁内関係者での打合せを評定前に実施予定 		